

事務事業名		建築確認支援システム運用事務					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	建築指導課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	指導係	担当課長名	入江仁一	
	施策	3 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 快適で安全な住まいづくりの推進と市営住宅の適正な管理・運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10823	一般	8	1	2	建築確認支援システム運用事務費					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	16年度～ 年度		根拠法令 条例等	実施方法		直営			
						事業分類		その他内部事務事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
①(財)建築行政情報センターに委託しシステムの運用をしている。また、会議や研修会に参加することにより、建築行政に関する情報収集や意見交換を行っている。 ②建築確認申請等の情報を建築支援システムに入力する。			(市の活動)建築確認申請のデータ入力 ((財)建築行政情報センターの活動)建築確認申請のソフト管理 事業費の内訳 ・データベース使用料 1,383千円							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			会議出席回数	回	1	1	1	1	1	1
			会議出席者数	人	1	1	1	1	1	1
			研修会参加者数(のべ人数)	人	5	5	5	5	5	5
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
①市職員(この協議会の範囲で関係する職員) ②建築する建築物の情報			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			対象職員数(この協議会の範囲で関係する対象職員数)	人	10	10	10	10	10	10
			建築確認申請等の件数(民間検査機関含む)	件	849	702	700	700	700	700
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
①建築行政についての他市の状況や最新情報を得る。 ②建築行政についての技術向上を図る。			協議会参画によって、他市の状況や最新情報を得られている(技術向上が図れた)と回答した対象職員の割合	%	100	100	100	100	100	100
			協議会参画が有意義であると回答した職員の割合	%	100	100	100	100	100	100
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
快適で安全な住宅づくりを推進する。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			建築確認における完了検査の検査済証交付率	%	100	111	93	94	95	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費投入量	財源内訳		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円		1,712	1,383	1,383	1,383	1,383		
	一般財源	千円								
	事業費計(A)	千円		1,712	1,383	1,383	1,383	1,383		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委託料	368	使用料及び賃借料	1,344	使用料及び賃借料	1,383	使用料及び賃借料	1,383
	人件費	千円								
	正規職員従事人数	人		3	3	3	3	3		
	のべ業務時間	時間		100	100	100	100	100		
	人件費計(B)	千円		389	394	394	394	394		
	トータルコスト(A)+(B)	千円		2,101	1,777	1,777	1,777	1,777		

事務事業名	建築確認支援システム運用事務	担当部	都市建設部	担当課	建築指導課	担当係	指導係
-------	----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成16年度に特定行政庁設置時に事務処理の効率化を目的として開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・当初の建築確認支援システム運用協議会は平成18年に日本建築行政会議に統合され、平成22年には解散した。現在システムは(財)建築行政情報センターに承継され運用されている。 ・平成24年度まで使用していたシステムはV7ほくとである。平成25年度から建築行政共用データベースシステムに移行した。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	申請者からは速やかな事務処理及び情報検索を望まれる。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	耐震偽装問題のような建物についての問題が発生した場合、建築確認の情報化並びに情報の共有化が図られていれば、迅速な事務処理が出来るので、特定行政庁として快適で安全な住宅づくりを推進しているとの信頼が得られる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	特定行政庁に付随した事務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	情報処理の推進なので妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	現状においては、全ての申請物件に関する情報は入力しているので、向上余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	建築支援システムは県下統一で採用しており、他の機種を導入することは出来ないが、機器の消耗品についてはコスト削減を既に図った。最小限の時間でやっている。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？		理由・改善案	受益者負担金を取る事業ではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?) 情報の集積が出来ないと、過去の情報の提供が出来なくなるので影響が出る。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			